

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	肺葉切除術と肺静脈断端の血栓形成に関する研究		
2. 対象患者	以下の期間に肺癌や転移性肺腫瘍などの病気で入院し、肺葉切除を受けた患者さんのうち、術後2年以内に1回以上造影CTを受けた方		
3. 対象となる期間	2008年1月1日 ～ 2017年12月31日		
4. 実施診療科等	呼吸器外科		
5. 研究責任者	氏名	木村大輔	所属 胸部心臓血管外科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	ありません		
7. 研究の意義	肺切除の後、脳梗塞や腎梗塞など他臓器の血栓塞栓症が起きることが知られており、最近の研究では、肺葉切除のための肺静脈処理の後、肺静脈を処理した血管内に血栓が形成され、それが剥がれ、脳を栄養する動脈や腎臓を栄養する動脈を閉塞することで、臓器不全症状が出現すると考えられております。特に左上葉切除は人体の構造上、右上葉切除など他の術式に比べ断端が長くなるため、血栓ができやすいとされております		
8. 研究の目的	術前の合併症(高血圧、糖尿病)や肺葉切除術の術式や肺癌のステージが肺静脈断端の血栓形成に関わるか調査を行います。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	2008年1月から2017年12月に肺癌あるいは転移性肺腫瘍などの呼吸器外科疾患に対して肺葉切除を受けた患者さんを対象とし、過去の診療記録(カルテ)を調査します。また、術後に行われた造影CT検査から肺静脈断端に血栓があるかを確認し、臨床病期、術式、既往歴、手術時間、手術における出血量、病理病期など臨床病理学的因子と血栓形成の間に関係があるかを調査します。 このような研究では、文部科学省、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開し研究を行うことが認められています。		
10. 個人情報の保護	収集した情報は、個人を特定できる情報を削除する匿名化をおこなった後に解析します。また、研究成果については学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。研究開始前に弘前大学医学部附属病院のホームページ上にオプトアウト文書を公開し、研究対象となる患者さんから参加拒否の申し出があった際には研究対象から除外します。		
11. 利益相反に関する状況	本研究は企業や他団体などとの利益相反はありません。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 胸部心臓血管外科学講座木村大輔		
	電話	0172-39-5074	FAX 0172-37-8340